

## 国の農業農村整備事業の予算確保と中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払交付金の予算拡充について

北信越部会提出  
説明担当 飯山市

農業農村は、生産基盤を通じて、水源や国土保全と自然環境や景観の保全など多面的機能を維持することにより、食料の安定供給はもとより、地域の歴史や伝統文化を育んでまいりました。

当地域では、多様な農業の振興と、その継続的発展並びに生産性の向上等を目的に、ほ場整備や農産物の生産に不可欠な農業用水を安定的に確保・供給する用排水路をはじめとした農業用施設の整備と維持管理、そして担い手への農地集積・集約化と農業の高付加価値化等に取り組んでまいりました。

しかしながら、昭和30年代から40年代に整備した農業用施設の老朽化が一斉に進んでおり、中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払交付金を活用した取組も進めておりますが、水利施設における破損や漏水など、各施設の機能低下が著しく、危機的状況にあります。

また、農業者の高齢化や担い手不足等による農業者の減少に加え、米価の下落等により、農業経営は大変厳しい状況にあります。

このような状況にあって、本年度の国の農業農村整備事業の極めて低い予算配分により、継続事業・新規事業を問わず、計画的な事業施行に支障を来しています。特に老朽化が激しい幹線用排水路については、早急な対応が求められており、米どころ、良質米産地にとっては大きな課題であり、地元農業関係者からも不安の声が聞こえています。

厳しい財政事情も十分理解しておりますが、国におかれましては、こうした情勢をご賢察いただき、農業農村整備に必要な事業の予算を確保していただくよう、強く要望します。